



市川 裕 (ICHIKAWA Hiroshi)

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 教授
(専攻 聖書・ユダヤ教)

東京大学法学部卒業、
同大学院人文科学研究科修士課程修了 (宗教学・宗教史学)、
同博士課程単位取得退学。
ヘブライ大学 (エルサレム) 留学。

筑波大学哲学・思想系文部技官、1990 年同講師、1991 年東京大学文学部助教授を経て、2004 年から現職。

1976 年、東京大学法学部を卒業後、宗教学の大学院で旧約聖書を学ぶが、イエス時代のユダヤ教に強く惹かれたため、エルサレムのヘブライ大学に留学し、いわゆる律法研究に取り組む。

大学では学べない生きた宗教の現場を経験するため、現地のシナゴグ (ユダヤ教会堂) で 1 年間、毎朝の礼拝に出席し、一般庶民の生活の中に深く根ざした宗教の営みに感銘を受けた。そうした体験と、帰国後に日本の宗教を学び直す中で、思索を深めた結果を、主著の『ユダヤ教の精神構造』(東京大学出版会、2004) にまとめた。

他に、主な著書として『ユダヤ人と国民国家』(共編) [岩波書店 (分担「第一章 宗教学からみた近代ユダヤ人のアイデンティティ」) 2008]、『宗教史とは何か 上巻』(共編)、[リトン (分担「ギリシアとの相克としてのユダヤ教史」) 2008]、「一神教と<戒>—ユダヤ教的特徴」『思想の身体 戒の巻』(松尾剛次編、春秋社、2006)、「レヴィナスにおけるタルムード研究の意義」『レヴィナス—ヘブライズムとヘレニズム—』(哲学会編、哲学雑誌第 121 巻 793 号、有斐閣、2006)、『バビロニアタルムード・マッコート篇』(翻訳監修) (三貴、1995)、『東洋思想 ユダヤ思想 1』(共著) (岩波書店、1988) などがある。